

＜チャンス逃さない＞

マルコ10：46～52

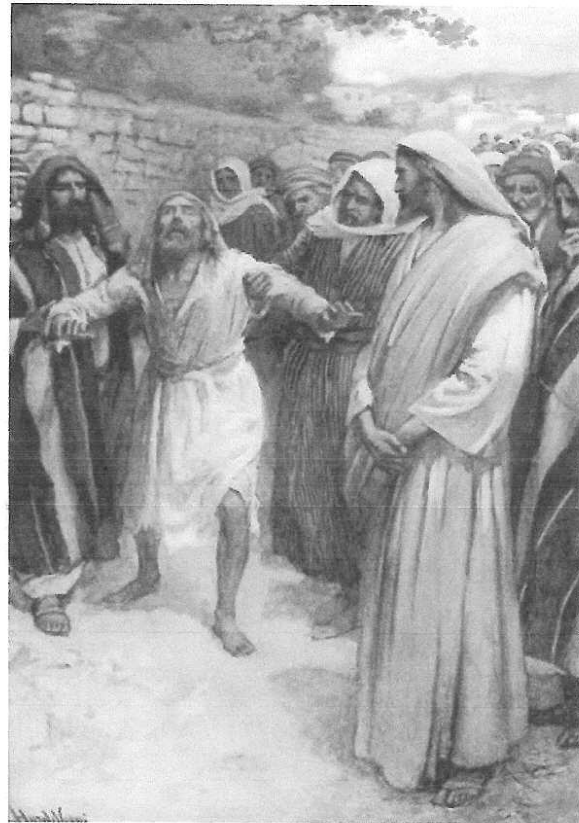
「チャンス」・・・状況が好転するために
与えられる機会の事。
チャンスを活かすには「行動力」が必要。

【鉄鋼王アンドリュー・カーネギー】
チャンスに出会わない人間は一人もいない。
それをチャンスにできなかつただけである。

◆救いのチャンスは、いつでもある。
しかしずっとではない。終わりの時が来る！

エリコ — エルサレム 約24Km

◆バルテマイにとって自分の人生を大きく変える
イエス・キリストと最期の出会いのチャンスが
あった。イエスさまはこの後、十字架に架けられ
てしまう・・・。



メシヤの現れを示す預言

そのとき、盲人の目は開かれ、耳しいた者の耳はあけられる。そのとき、足なえは鹿のようにとびはね、おしの舌は喜び歌う。荒野に水がわき出し、荒地に川が流れるからだ。 イザヤ35：5、6

バルテマイの信仰の叫び

ナザレのイエスだと聞くと、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください」と叫び始めた。
そこで、彼を黙らせようと、大ぜいでたしなめたが、彼はますます、「ダビデの子よ。私をあわれんでください」と叫び立てた。【47, 48節】

イエスさまと出会わないわけにはいかない！今この時を逃さない！

◆生活の中で、思いがけないことで悩む。それは神の元へ立ち返るための神の招きの手。
主に信頼する者は、失望させられることがない。 ローマ10：11
主を呼び求めるものは、誰でも救われます。 ローマ10：13

「見えない」のは、視覚的に見えない不自由さだけ？ 心の目は？

「たしなめた」のは何故？

- ①教師(ラビ)は、歩きながら教えを説く習慣があった。バルテマイの叫び声で遮られたから。
- ②バルテマイがメシヤの称号である「ダビデの子」と呼んだことで、過ぎ越しの祭りの前に混乱をきたす恐れがあった。
- ③バルテマイを見下げる思い。邪魔者あつかい。

バルテマイ・・・自分の真剣な求めが周囲には理解されない孤独感がある。
他にもっと大事なことがあると、その求めを退けられた。

しかし

イエスさまだけは、その声をもらさずに聞いておられた！

イエスは立ち止まって、「あの人を呼んで来なさい」と言われた。【49節】

イエスさま 「わたしに何をしてほしいのか」。

バルテマイ 「先生目が見えるようになることです。」

イエスさま 「さあ、行きなさい。あなたの信仰があなたを救ったのです。」

すぐさま彼は見えるようになり、イエスの行かれる所について行った。

「信仰」は自分の知識や、自分の行いといった、自分の側でない。

信じる対象、相手側にある。

自分がどんな者かは関係ない。信じている相手がどんな偉大な方であるのか、それをどれほど自分が知っているか。

見えるようになったバルテマイが、その後、その目を見たものは・・・？

イエスさまが十字架に架けられた姿。

自分は助けられたが、助けたイエスさまは見殺しにされた。

彼はさげすまれ、人々からのけ者にされ、悲しみの人で病を知っていた。イザヤ53：3
まことに、彼は私たちの病を負い、私たちの痛みをになった。だが、私たちは思った。彼は罰せられ、神に打たれ、苦しめられたのだと。しかし彼は、わたしのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって私たちはいやされた。イザヤ53：4、5

- ◆イエス様を信じて救われたのに、まだ同じ場所に座ったままになっていないだろうか。そこから立ち上がって、イエスさまについていこう。

父なる神は、私たちに期待している！